授業の具体的展開例

〈話合いによる集団解決〉

Ｔ：**高得点にするためにはどんな組み合わせをすればよいでしょうか。**

Ｃ：○○君と話したんだけど、90 と 65 を組み合わせれば 5000 を越えて 5 点が取れることが分かりました。概数で計算すれば 90×70＝6300 になり 5000 を越えます。

Ｃ：でも、たとえ 5000 を越えて 5 点をとっても残った数で小さい点数を取ると、合計点数は少なくなると思います。

Ｃ：残った数で 3 点は取れないので、2 点や 1 点をぎりぎりで取る方法を考えればいいと思います。

Ｔ：**では、実際にワークシートに書いて問題をやりましょう。**

早く問題が終わった児童には・・

○どのように組み合わせれば高得点になるのか自分の言葉で分かりやすく説明ができるようにさせる。

○概数を使った別のゲームのやり方を考えさせる。

・カードの枚数を変える
・カードの桁数を変える
・わり算のゲームにする　など

教材・教具

○　数字カード（掲示用・児童用）

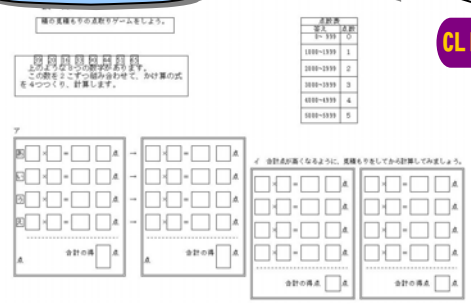
※　組み合わせが分かりにくい児童には、手で操作をしながら考えることができるので有効である。

○　点数表（掲示用・児童用）

板書例

板書例はこちら

CLICK



「活用」の力を育てる評価の工夫

本時は、この単元の第３時である。本単元では、「目的に応じて、積、商を概数で見積もること」がねらいであるが、総まとめとして「ゲームを通して、積を概数で見積もる力を伸ばす」ことを目標としている。児童が問題場面を的確に把握し、どのように組み合わせれば高得点になるかを話し合い、見通しをもって積の見積もりをしていく学習である。そのためには、考える時間を確保し、条件をもとに結果を見通す力を育てるとともに、自分の考え方を分かるようにまとめて書く力も育てる。

話合いの場面では、発表を通して自分の考えを確かめる場として、自分の考えを適切に表現することを大切にする。

「活用」の力を育てる評価の視点

本時では、高得点になるように見通しを持って見積もることが大切である。その考えを相手に分かるように筋道を立てて表現させることにより、思考力、表現力を伸ばす。

「活用」の力を見取る具体的な類型として、

①５点を取るための組み合わせが分かるとともに最高得点を獲得し、筋道を立てて説明することができる。
②５点を取るための組み合わせが分かるとともに最高得点を獲得し、説明することができる。
③どちらにも気付いていなかったが、説明を聞き理解することができる。
④どちらの考え方も理解できない。

が考えられる。④の状態の児童には、十分な個別指導が必要である。①或いは②の状態になるよう、授業後半の話合いや類似問題の場面を充実させる。

さらに、振り返りでは、学びを整理させるとともに、積を概数で見積もることのよさを知ることにより、日常生活に生かす力を育成する。

児童のノート例

見積もりを使ったゲームは、最高得点を出すのに大きいものどうし、小さいものどうしで計算することや、最低得点を出すときは、大きい数×小さい数をすることが分かりました。また、見積もりは買い物をする時などに便利だと思いました。これから、お金を使うときに役立てたいです。

HOME　本時の流れへ　評価問題